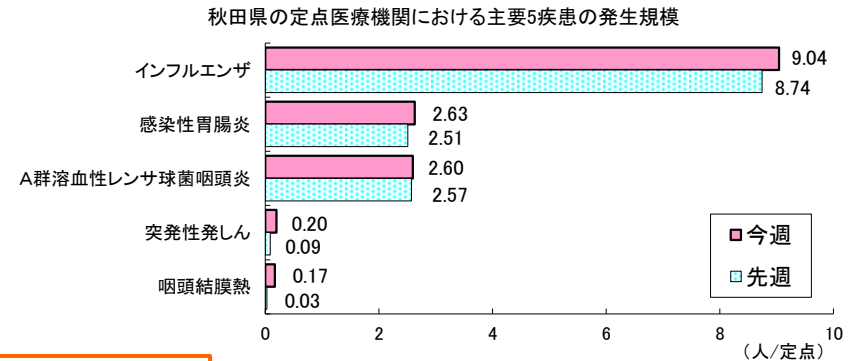




【第10週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. インフルエンザは、県全体で3%増加しています。保健所別では、大館、北秋田、秋田中央、由利本荘、大仙、横手で増加、秋田市、能代、湯沢で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で5%増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田で増加、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1%増加しています。保健所別では、秋田市、大仙、湯沢で増加、大館で同規模、秋田中央、由利本荘、横手で減少しています。



発生報告

次の週報は、3月22日(金)に公表します。

＜五類定点対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減			
RSウイルス感染症		0.03	↗					0.25	↗																					
インフルエンザ	8.74	9.04	↗	10.27	9.73	↘	4.57	6.57	↗	5.00	6.67	↗	11.25	4.75	↘	11.33	12.33	↗	4.33	6.67	↗	7.29	10.57	↗	6.00	8.20	↗	18.40	13.40	↘
咽頭結膜熱	0.03	0.17	↗		0.29	↗											0.25	↗	0.25	0.25									0.50	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.57	2.60	↗	3.71	4.00	↗	0.25	0.25								6.50	5.50	↘	5.50	3.25	↘	0.75	2.50	↗	2.00	1.33	↘	1.50	3.25	↗
感染性胃腸炎	2.51	2.63	↗	2.57	5.14	↗	0.25	1.25	↗	2.00	2.50	↗	3.67	2.33	↘	3.00	2.25	↘	0.75	0.50	↘	0.25		↘	5.00	4.00	↘	5.75	4.00	↘
水痘	0.06	0.14	↗	0.14		↘		0.75	↗													0.25		↘		0.67	↗			
手足口病																														
伝染性紅斑	0.31	0.14	↘	0.14		↘	2.00	0.75	↘										0.50	0.50										
突発性発しん	0.09	0.20	↗		0.43	↗	0.25	0.25			1.50	↗							0.25		↘				0.33		↘			
ヘルパンギーナ	0.03		↘							0.50		↘																		
流行性耳下腺炎	0.06	0.06												0.33	↗							0.50	0.25	↘						
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎		0.14	↗		0.33	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎		0.13	↗													*	*					1.00	↗							
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.38	0.25	↘							3.00	2.00	↘				*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が能代保健所管内から1人、百日咳が横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-9週	10週	11週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	3140	15	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
鳥インフルエンザ(H7N9)				
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	14		
	腸管出血性大腸菌感染症	183		
	腸チフス	6		
	パラチフス	3		
四類	E型肝炎	65		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	91	6	
	エキノкокクス症	1		
	黄熱			
	オウム病	5		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサヌル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	2		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

(人)

類型	疾患名	(人)		
		1週-9週	10週	11週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	1		
	つつが虫病	40		
	デング熱	49		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	4		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症			
	マラリア	5		
	野兔病			
	ライム病			
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	239	2		
レプトスピラ症				
ロッキー山紅斑熱				
五類	アmeerバ赤痢	133	3	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	54		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	329	3	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	11		
	急性脳炎	277	3	
	クリプトスポリジウム症			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	25		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	182	1	
	後天性免疫不全症候群	166		
	ジアルジア症	6		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	120	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	12		
	侵襲性肺炎球菌感染症	679	4	1
	水痘(入院例に限る)	70		
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	998	2	
	播種性クリプトコックス症	24		
	破傷風	8		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	13		
百日咳	2651	35	1	
風しん	768	2		
麻しん	285			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	5			

トピック

<水痘(水ぼうそう)に気をつけましょう>

■水痘とは

“水ぼうそう”とも呼ばれる水痘は、小児の代表的なウイルス性発疹症の1つです。感染力が極めて強く、発疹の内容物に触れた場合はもちろんですが、空気感染でも拡がります。そのため、集団感染を起こすこともあり、秋田県内の保育園や小学校からも、例年、集団感染事例が報告されています(2017年3件、2018年1件)。季節を問わず発生がみられますが、特に晩秋~冬と春~初夏にかけて報告数が増加する傾向にあります(図)。患者の90%以上は9歳未満の小児ですが、まれに成人が発症することもあり、小児と比較して重症化しやすいと言われています。

■症状

感染すると2週間程度の潜伏期間の後に、全身にかゆみを伴う特徴的な赤い発疹が現れます。発疹は紅斑→丘疹→水疱→膿疱→かさぶたと変化しますが、次々に新しい発疹が現れるため、急性期には様々な状態の発疹が混在して見られます。一般的に予後は良好ですが、合併症として肺炎や熱性けいれん、脳炎等の中枢神経症状を起こす場合もあるため、注意が必要です。一度感染すると、終生免疫により二度と水痘に罹患することはありません。しかし、治癒後もウイルスは身体の中に潜伏し続けるため、体調不良や疲労等で免疫力が低下した際にウイルスが活動を再開し、激しい痛みを伴う**帯状疱疹**を発症することがあります。

■予防接種

予防にはワクチンの接種が有効です。1歳の誕生日前日~3歳の誕生日前日の方は、定期接種として無料で接種できます。水痘に罹患してしまった場合、学校保健安全法により出席停止が義務づけられているため、**全ての発疹がかさぶたになるまでは**学校等を休まなければいけません。まだ接種がお済みで無い方は、医療機関にご相談ください。また、定期接種の対象外の年齢の方も、全額自己負担ではありますが、接種を受けることができますので、ご検討ください。

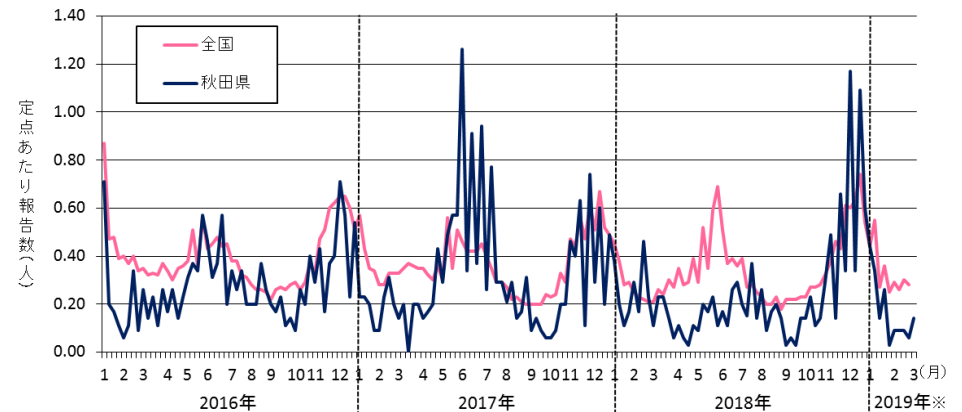


図 全国と秋田県における水痘の患者発生動向
※2019年:全国は第9週、秋田県は第10週現在



2018年/2019年シーズン (2018年第36週：9月3日～)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

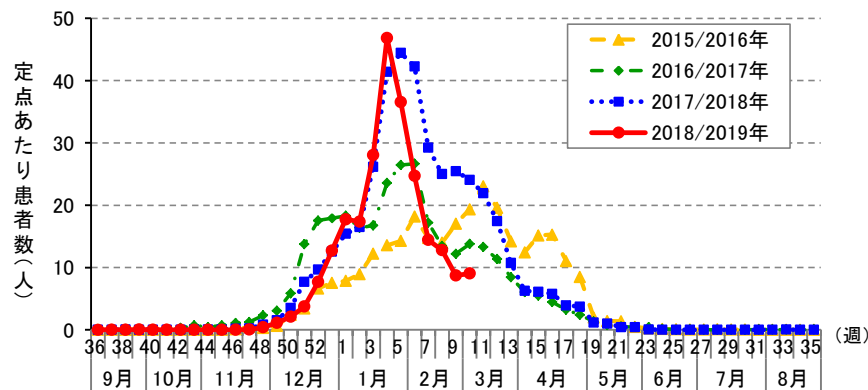


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生が2件報告されました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数		
				利用者(園児、入所者等)	職員	計
131	湯上市	天王幼稚園	3/4	77 名のうち 12 名	16 名のうち 0 名	12 名
132	仙北市	角館西保育園	3/4	40 名のうち 9 名	14 名のうち 2 名	11 名

【インフルエンザの集団発生状況】

- 今シーズン(3月10日時点)の報告数
132施設：社会福祉施設31、保育所・幼稚園90、病院11
- <参考>
○昨シーズンの年間報告数
170施設：社会福祉施設44、保育所・幼稚園119、病院7

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

インフルエンザ入院サーベイランス

表：2018/2019シーズン
秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)			
秋田県		全国	
3/4～3/10 (10週)	累計	2/25～3/3 (9週)	累計
14	259	470	18,682

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。



感染性胃腸炎情報

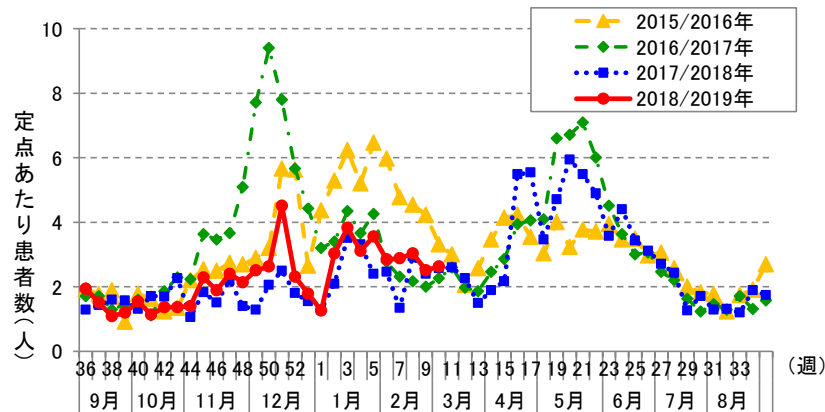


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が1件ありました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児、入所者等)	職員	計			
55	羽後町	みわこども園	3/7	120名のうち13名	28名のうち1名	14名	3/1 ~ 3/7	嘔吐、下痢	ノロウイルス アデノウイルス を検出

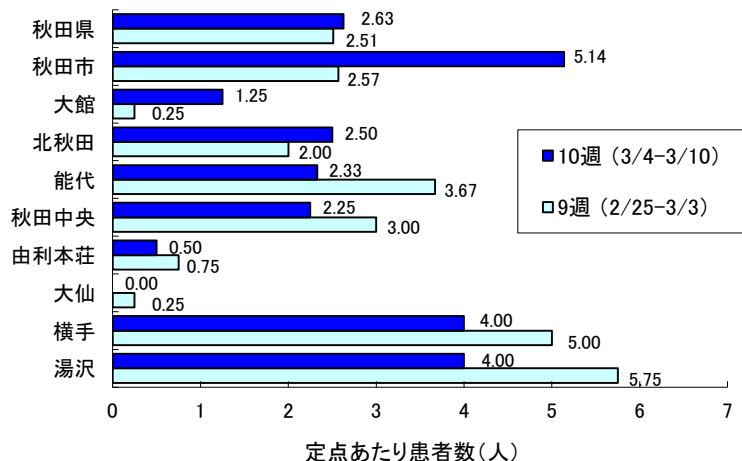


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

【感染性胃腸炎の集団発生状況】

- 平成30年度(3月10日時点)の報告数
55施設 有症者754名:社会福祉施設6、保育所・幼稚園48、病院1
- <参考>
○平成29年度の年間報告数
42施設 有症者637名:社会福祉施設8、保育所・幼稚園34

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	大仙(10.57)、湯沢(13.40)	秋田中央(12.33)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		